

第31回 日本緑内障学会

ランチョンセミナー10(LS-10)

Web
開催

主流出路を介した 眼圧下降療法の意義に迫る

配信期間 2020年11月5日(木)正午~11月18日(水)正午

URLアドレス <http://www.congre.co.jp/jgs2020/>



座長

稲谷 大 先生

福井大学医学部 眼科学教室 教授



本セミナーは「主流出路を介した眼圧下降療法の意義に迫る」をテーマに、お二人の先生から講演をいただきます。低侵襲緑内障手術(MIGS)後の眼圧管理における薬剤治療については、試行錯誤しながら症例に適した薬剤選択をしていると思います。このような中、MIGSや点眼薬が主流出路にどのような影響を及ぼすのかについて、スリットランプやOCT、OCTアンギオグラフィーなど様々な技術を応用して評価できる時代になってきました。これらの情報を整理することは、より効果的な緑内障治療につながると考えています。

そこで本セミナーでは、主流出路に関する研究、さらには臨床への応用がどこまで進んでいるのかについて迫ってみたいと思います。明日からの日常診療に役立つ情報をお持ち帰りいただける場となれば幸いです。

講演
1

MIGS後の眼圧管理 ～点眼治療への期待～

佐藤 智樹 先生

佐藤眼科 院長



講演
2

主流出路の可視化と 臨床応用

赤木 忠道 先生

京都大学大学院医学研究科 眼科学 准教授



※聴講には本学会への参加登録が必要です。 ※配信期間中はいつでも聴講可能です。